



# 山乳便り

2022年6月発行

No.0002

発行：山本乳業(株)

「やまにゆうさん」と呼ばれる、あなたの町の牛乳屋さんを目指して!!

日頃より山本乳業の宅配サービスをご利用いただき誠にありがとうございます。  
いよいよ入梅し、蒸し暑い日が続くこの時期は、熱中症のリスクも高まります。こまめな水分補給と適度な冷房の活用で対策しましょうね。

今月は「牛乳の日」と「山本家釣り部」の2本立てです。お楽しみください。



## ご存じですか!? 6月1日は「牛乳の日」

牛乳への関心を高めて、酪農・乳業の仕事を多く知ってもらうことを目的に、2007年から毎年6月1日を「牛乳の日」、6月を「牛乳月間」と定めています。(一般社団法人日本牛乳協会HPより)

牛乳と聞くと「カルシウム」をイメージしますが、最近必要な栄養素としてよく聞く、良質な「たんぱく質」やビタミン類なども豊富に含まれており、牛乳は栄養密度の高いバランス食品と言われています。

さて、現在流通している乳製品に使われる「生乳」には、「国内生産」と「輸入乳製品」があるのはご存じですか? 「輸入乳製品」と聞くと「え!?!」と驚く方もいるかと思いますが、主に脱脂粉乳・チーズ・アイスクリーム・ヨーグルトなどに「輸入乳製品」は使われており、普段皆さんが飲まれる飲料用の牛乳は「国内生産」で生産されているんです。日本のおいしい牛乳は日本の酪農家さんの贈り物なんですね。

そんな「国内生産」の牛乳の品質を守るため、酪農家さんたちは365日休みなく牛さんに栄養バランスを考えた飼料を与えたり、牛舎の温度管理や健康管理など、細心の注意を払って飼育されています。酪農家さんの経営状況を調べると、バイオマス燃料の普及により、不可欠な飼料の価格高騰が続き、電気代・配送のコストなど経営を圧迫する状況が続き、年々酪農家さんの件数も減っているようです。

このまま酪農家さんの減少が続き、生乳の「国内生産」量が減少すると、お肉でもプレミアムな「和牛」が出来たように、いつかプレミアム無調整国産「和牛乳」なんて商品も出てくるかもしれませんね。

そうはならないためにも、私たち牛乳販売店も6月1日牛乳の日に復旧活動ができるように努めて参りますので、よろしくお祈りします。



## 明治 ミルクで元気



お届けしている「ミルクで元気」はコップ1杯の牛乳で

1日分のカルシウム(ししゃも10匹分)

1日分の鉄分(ほうれん草2.7束分)

さらに良質な「たんぱく質」「葉酸」「ビタミンD」を含んだおススメの牛乳です。お試しご希望の方は、サンプルお届けしますので、お知らせください。

